



発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL / FAX 024-567-5322

Web <http://www.nposhalom.net>
E-mail info@nposhalom.net

発行責任者：大竹静子

2015 年 総会のお知らせ

総会日程が決まりました

五月三十一日(日) 開催します!

今年の NPO 法人シャローム総会日程が五月三十一日(日)に決まりました。会場は今年もまちなか夢工房二階です。平成二十八年の活動報告、決算報告と二十七年の活動計画、予算案が審議されます。

シャロームの活動内容も年々広がり、活動内容に合わせて法人格も分離されてきており、シャロームの「障がいを持つ人も持たない人も共に生きる社会」を目指す活動を進めるために、ボランティアグループから NPO 法人化し、その NPO 法人シャロームを中心に、現在では、一般社団法人シャローム福祉会、合同会社楽膳の三つの異なる法人によって役割分担を行いながら行われています。

今回の総会は、NPO 法人シャロームの総会となり、毎月発行しているシャロームネットワークやホームページではシャローム全体の活動を紹介していますが、総会では NPO 法人の部分のみの報告となってまいりますことをご了承ください。

NPO 法人シャロームが福島市からの委託事業として行ってきた「障がい者コミュニケーションサロン事業『まちなか夢工房』が平成二十七年三月

三十一日をもって廃止されました。これに伴って、「まちなか夢工房」の存続のため四月一日からは、一般社団法人シャローム福祉会が運営する「まちなか夢工房」として再出発しています。

このため、NPO 法人シャロームにおける夢工房の活動報告は、今年で最後となり、二十七年の計画からは除かれることとなります。その他にも活動内容を分担しながら行っている部分が多くあり、今後も拡大していくこととなります。新年度に予定されている活動の三法人による役割分担と主な内容について、ここで紹介しておきたいと思えます。

① NPO 法人シャローム

■本部事業：地元学やシャロームネットワークの編集等、既存の継続事業を行いながら、シャローム全体の計画運営を行う。

■UDセンター事業 UDセンター内に「災害支援センター」を併設し、震災以後の支援事業の継続として子ども保養、移動教室の推進とともに、子どもたちの生活空間の自主的線量測定事業を行う。飯館村を中心にコミュニケーションリーダー育成のためのパン

■ひまわりプロジェクト事業：全国的な広がり拡大しているひまわりプロジェクトを独立した事業部門として強化していく。

② 一般社団法人シャローム福祉会

・障がい者就労支援 B 型「バーシック憩」
・障がい者就労支援 A 型「まちなか夢工房」

上記二施設の運営を行う。

③ 合同会社楽膳

■ユニバーサルデザイン製品の開発事業
■開発商品(楽膳椀等)の販売
■シャローム全体の企画広報関連業務

震災・原発事故後の社会において地域福祉は急激に悪化してきており、地域の福祉拠点としての福祉施設の役割が大きくなってきています。制度では見落とされている福祉場面を市民側からサポートしてきた NPO の活動から、制度化された福祉を担うための法人格として一般社団法人を震災後立ち上げました。

障がい者に関わることで解る障がい者に優しい製品の開発を行うため、営利法人として楽膳を設立させ活動してきたことが、十年の年月を経て最近各方面から評価されて来ています。楽膳の活動は、障がい者の社会参加の可能性を大きく拡大して行きます。制度外の福祉を市民がサポートし、担う、非営利活動団

春のつメモ長

桜の花が満開。いつもの通り慣れた道も華やかに見える。あそこにも、あそこにも、普段は気に留めない木々の中に桜の花が。

花が終わると若葉をつけ、木々の中に溶け込んでいく。それぞれの木々は、みんなが寄り添いながら林を作り、森を作っている。その木々は、一本一本が大地に根を張り育っている。

同じ時に植えられた桜の木でも、大きく育ち花を咲かせている今、大ききや花の開花の色も微妙に違う。

見る人の関心の持ち方で、もの見え方が大きく変わる。桜は、自然の営みの中でその木の一生を生きている。その変化の中で花を咲かせる。

その桜の一生の中に自分の一生を重ねている人間がいる。桜と人間の対話、桜は、私たち日本人の自然観に大きく影響を与えてきたことを思う。

(T.O.)

体の NPO 法人シャローム。制度内福祉を担当する一般社団法人シャローム福祉会。シャロームの活動から派生する事業を担う合同会社楽膳。シャロームの目的実現に向けて三つの法人格が三位一体の活動を展開して行きます。

これからのシャロームの活動に変わらぬご理解と協力をお願いいたします。(代表 大竹静子)